

【九州運輸局ワークショップ】

出水期に向けた災害対策について（経験を踏まえた対策等）

【今年度のテーマについて】

- 「出水期に向けた災害対策について（経験を踏まえた対策等）」として、九州独自のテーマでの開催を予定しております。
- 出水期前の「運輸防災マネジメントセミナー＆ワークショップ」の開催は今回で3年目となります。前回のアンケートから「経験談が参考になった」「各社のとりくみが発言しやすい方がよい」という意見をいただいているところです。
- 運輸防災マネジメント指針でも、他社のとりくみを自社の取組みに反映させることを効果的としています。そこで、実際の各社の取組を共有していただくことで、実践的な災害対応力の向上を図ることを目的として今回のテーマを設定させていただきました。

【ワークショップの流れについて】

- ワークショップの事前準備
 - 事前調査票を提出（5月中旬～下旬）
（調査事項・案）
 - ・台風・豪雨等の災害の発生が予見された際の事前対応策
 - ・河川の氾濫や高潮の危険性が高まった際の対応（避難ルート、情報収集方法等）
 - ・豪雨や台風被害を受けた経験がある場合、その後の対応
- ワークショップ当日
 - ①鉄道・自動車・海事等のモード単位でグループ分け
※参加者の参加状況でグループ分けは適宜変更いたします。
 - ②事前提出いただいた調査票の内容を各社で発表
 - ③意見・情報交換
 - ④運輸局からのまとめ

【補足事項】

- ワークショップについては、活発な議論を行い、意見を交わすことが重要なため、対面での参加を推奨しております。（WEBでの参加も可能。）
- 調査票については、申込み時に記載いただいたメールアドレスに後日、送付いたします。（可能な範囲でご記載ください。）